

品種改良	味がよい、倒れにくい、寒さに強いなど、目的にあった品種をつくりだすこと
単作	同じ耕地で、1年に1種類の作物だけを栽培すること (北陸地方や東北地方の米の単作地帯)
減反政策	米があまるようになったためとられた、米の生産調整を行うための農業政策。 (休耕・転作)
促成栽培のメリット	野菜を高い価格で売ることができる
段々畑	みかんなどが栽培される日当たりのよい斜面の畑
棚田	少しでも多くの米を生産するため、山の斜面に階段のようにつくられた 水田(土砂崩れを防ぐ、美しい景色をつくり出すなどの長所)
バイオ燃料	とうもろこしやさとうきびを原料につくられた燃料 (環境をあまりそこなわない)
飼料作物	牧草・麦・大豆・いもなど、飼料(牛やぶたなど家畜の餌)になる作物のこと
こうぞ・みつまた	木の皮が和紙の原料になる。和紙は半紙や障子、お札などに使われている
工芸作物	工場などで、食品をはじめとするいろいろな製品に加工される作物のこと
近郊農業	大都市のまわりで、野菜・くだもの・花などをつくる農業

高冷地農業

夏でも涼しい高原の気候を利用して、レタス・キャベツなどを栽培する農業のこと

高原野菜

高冷地農業でつくられる野菜
(長野県の野辺山原・群馬県の嬭恋村)

くだもの輸入が増えた理由

1. 日本がオレンジなどのくだものを輸入することを、外国が求めた
2. 普通は外国産のくだものの方が安い
3. 消費者が色々なくだものを好むようになった

畜産農家が減っている理由

1. 働く人の年齢が高くなった（後継ぎが不足）
2. 安い輸入肉との競争がきびしい
3. 設備やえさに費用がかかる

ブランド牛

三重県の松坂牛・山形県の米沢牛・兵庫県の神戸牛など

穀物

人間がその種・実を食べる植物のこと（多くは主食となる）

有機栽培

化学肥料や農薬を使わずに、作物をつくること

水田のはたらき

1. 水を蓄えて洪水を防ぐ（全国のダム貯水量の3倍）
2. 土砂が流れ出すのを防ぐ。3. 地下水の量を安定させる
4. 夏の暑さをやわらげてくれる。5. 生き物のすみかとなる

たい肥

わらや落ち葉などを積み上げ、くさらせてつくる肥料。



有機JASマーク（農薬や化学肥料などの化学物質に頼らず、自然界の力で生産された食品を表しており、農産物、加工食品、飼料及び畜産物に付けられる）